

『昭和八年』—1933年

神武天皇即位紀元2593年……癸酉，平年（日數總計365日）

現行される種々の暦年の始まりの日

中華民國 22年=1月1日， ユリウス暦 1933年1月14日，
 暹羅曆2476年=4月1日， ヌダヤ曆5694年=9月20日， マホメト暦 1352年=4月26日，

凡 例

1月1日は日曜， 丁卯， ユリウス通日2427074日， 年初の平均黃道傾斜角23°26'52"80

		祝 祭 記 念 日				
四元宮正紀地降春季神	方始新年朔節元久念皇祭	1月1日 1月3日 1月5日 1月26日 2月11日 3月6日 3月10日 3月21日 4月3日	上巳節 イスタ節 天長節 海軍記念節 端午節 時の記念日 七夕 秋季	4月5日 4月16日 4月29日 5月27日 6月5日 6月10日 7月30日 8月7日 9月24日	仲秋の名月祭 神嘗陽節 重明治節 休戦記念日 新嘗祭 大正天皇祭 クリスマス祭	10月4日 10月17日 10月27日 11月3日 11月11日 11月23日 12月25日

季 節

太陽の經度	24節	日 時	12宮	太陽の經度	24節	日 時	12宮
285°	小寒	1月6日 時分	磨羯宮	105°	小暑	7月7日 時分	巨蟹宮
300	大寒	1 20,	寶瓶宮	120	大暑	7 23,	獅子宮
315	立春	2 4,		135	立秋	8 8,	
330	雨水	2 19,	雙魚宮	150	白露	8 23,	處女宮
345	春分	3 6,		165	秋分	9 8,	
0	清明	3 21, 10:43	白羊宮	180	寒露	9 23, 21:01	天秤宮
15	立夏	4 5,		195	霜降	10 9,	
30	芒種	4 20,	金牛宮	210	小雪	10 24,	天蠍宮
45	夏至	5 6,		225	大雪	11 8,	
60	小暑	5 21,	雙子宮	240	冬至	11 23,	人馬宮
75	大暑	6 6,		255	小寒	12 7,	
90	立秋	6 22, 6:12	巨蟹宮	270	大寒	12 22, 15:58	磨羯宮

土用 (冬) 1月17日， (春) 4月17日， (夏) 7月20日， (秋) 10月21日，

彼岸：(春) 3月18日， (秋) 9月20日， 社日 (春) 3月23日， (秋) 9月19日，

雜節：〔節分〕2月3日，〔八十八夜〕5月2日，〔入梅〕6月11日，〔二百十日〕9月1日，

日 曜

1 月	1, 8, 15, 22, 29,	7 月	2, 9, 16, 23, 30,
2 月	5, 12, 19, 26,	8 月	6, 13, 20, 27,
3 月	5, 12, 19, 26,	9 月	3, 10, 17, 24,
4 月	2, 9, 16, 23, 30,	10 月	1, 8, 15, 22, 29,
5 月	7, 14, 21, 28,	11 月	5, 12, 19, 26,
6 月	4, 11, 18, 25,	12 月	3, 10, 17, 24, 31,

月の諸相

	新月	上弦	満月	下弦
1月	26日前 8時20分	4日前 1時24分	12日前 5時36分	19日後 3時15分
2月	24, 後 9, 44	2, 後 10, 16	10, 後 10 0	17, 後 11, 8
3月	7, 後 4 44	4, 後 7 23	12, 前 11 46	26, 後 0 20
4月	25, 前 3 38	3, 後 2 56	10, 後 10 38	17, 後 1 17
5月	24, 後 7 7	3, 前 7 39	10, 前 7 4	16, 後 9 50
6月	23, 前 10 22	1, 後 8 53	8, 後 2 5	15, 前 8 25
7月	23, 前 1 3	1, 前 6 40 30, 後 1 44	7, 後 8 51	14, 後 9 24
8月	21, 後 2 48	28, 後 7 13	6, 前 4 32	13, 後 0 49
9月	20, 前 3 21	27, 前 0 36	4, 後 2 4	12, 前 6 30
10月	19, 後 2 45	26, 前 7 21	4, 前 2 8	12, 前 1 45
11月	18, 前 1 24	24, 後 4 38	2, 前 4 59	10, 後 9 18
12月	17, 前 11 53	24, 前 5 9	2, 前 10 31	10, 後 3 24

内遊星

	内合	外合	東方極大離角	西方極大離角	極大光輝
水星	3月 23日	2月 8日	3月 7日 (18度)	4月 20日 (27度)	
	7 30	5 29	7 32 (26)	8 18 (19)	
	11 19	9 12	10 28 (24)	12 6 (21)	
金星	—	4 22	11 26 (47)	—	12 31

外遊星

	對衝	會合	東留	西留
火星	3月 2日	—	1月 22日	4月 13日
木星	3 9	9月 27日	1 9	5 11
土星	8 6	1 27	5 27	10 15
天王星	10 19	4 14	8 3	—
海王星	2 28	9 3	5 19	12 15
冥王星	1 13	7 15	12 13	—

日月食

日食: 2月 24日 金環食——南米から南太西洋を経てアフリカにかけて見えるもので部分食は西南アジアに於ても見られる。日本よりは見えない

8月 21日 金環食——アジアから濠州地方を通るのであるが學術上に期待されず。我日本にては九州以西で部分食が見られるにすぎない

今1933年の天界珍象

火星の接近——3月が好期。

歸來する彗星——主なるものを挙げれば、ケンネケ、ジャコビニ、フィンレイ、等である。

獅子座流星群——第一テンペル彗星の歸來に伴ひ本年も亦11月中旬獅子座流星雨が特に目立つて出現する筈、觀測を希望する。